

# 外国語活動学習指導案

平成 27 年 6 月 24 日 (水) 第 2 校時 (9:45 ~ 10:30) 於 : 3 年 2 組教室  
指導者 HRT ●● ●● ALT ●● ●●

1 単元名 「好きなものをたずねよう」 ("Hi, friends! 1" Lesson 4)

## 2 考察

### (1) 教材観

#### ①学習内容 : 学習指導要領上の位置付け

- ・ 1(1) 「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。」
- ・ 1(3) 「言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。」

#### ②主な伸ばしたい資質・能力

- ・ 友だちと尋ねたり答えたりする簡単なやり取りを通じて、進んで相手と関わろうとすること。
- ・ 分からないときに、Hint, please. One more please. など付け加えて聞いたり、ジェスチャーを加えたりして話そうとすること。
- ・ 自分のみのまわりのことを英語のもつリズムやイントネーションで尋ねたりこたえようとしようとする。
- ・ 日本語と英語の音の違いや言葉の面白さ、豊かさに気付くとともに、日本と外国の生活、習慣、行事等の相違点や共通点に気付くこと。

#### ③そのために必要な指導・学習活動

- ・ Hello. How are you. などを使って積極的にあいさつしたり、表情やジェスチャーを付けて相手に気持ちや様子を尋ねたり、伝えたりする。
- ・ "J" please. Here you are. Thank you. などを使ってアルファベットの大きい文字の形とアルファベットの名称と音に慣れ親しむ。
- ・ 日本語と英語の音の違いに気付かせ、色や形の言い方や、ほしいものを伝える簡単な言い方に慣れ親しむ。
- ・ I like apples. I don't like bananas. など好きなものについて伝えたり尋ねたりして、進んで友だちとの交流を楽しむ。
- ・ What's this? It's a piano. などを使って、ある物が何かと積極的に尋ねたり答えたりして、友だちとの交流を楽しむ。
- ・ What number? How many apples? などを使って、積極的に数を数えたり尋ねたりしながら、日本語と英語の表現の違いに気付かせる。
- ・ 外国の文化に関する言葉や表現の面白さに気付かせる。
- ・ 英語絵本の繰り返し表現やリズムに親しみ、絵本がもつ世界を楽しむ。
- ・ 身のまわりのものの名前や表記にふれ、アルファベットの文字の形と名前に慣れ親しむ。
- ・ クリスマスに関する言葉や表現の面白さに気付き、クリスマスカードを作り、友だちと楽しく交流する。
- ・ 表現やジェスチャーをつけて相手に気持ちや様子、動作を積極的に伝え、交流を楽しむ。
- ・ いろいろな国旗に関心を持ち、色や形を表したり、ほしいものを伝えたりする簡単な言い方に慣れ親しむ。
- ・ I have a pencil. Do you have a pencil? などを使って、持っているかどうかを尋ねる言い方を使って、相手のほしいものを尋ねたり、答えたりしながら、進んで相手とやり取りをする。

#### ④今後の学習の活用

- ・ 自分の好きなものや好きなことを紹介し合う活動
- ・ 英語のイントネーションを使った、コミュニケーション活動。

(2) 児童の実態及び指導方針（男子 11 名、女子 8 名、計 19 名）

①既習の学習内容や活動

- ・ 毎日の活動の中であいさつしたり、表情やジェスチャーを付けて相手に気持ちや様子を尋ねたり、伝えたりする活動を通して、あいさつに関する語彙に慣れ親しんできた。
- ・ 身のまわりのアルファベットを探す活動やゲーム、歌を通して、アルファベットの大文字の形とアルファベットの名前と音に慣れ親しんできた。

②実態及び方針

- ・ 表情やジェスチャーを付けて行う活動では、恥ずかしがる児童が多く、グループにするとなかなか相手に気持ちを伝えたりする事ができない。本単元では、ペアの活動から少しずつ広げていき、コミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばしていきたい。
- ・ 外国語活動のアンケート結果では、外国について関心が高い児童が多く、「英語を話せるようになりたい」という意見が多かった。また、その理由として「外国の人と話せたらカッコいい」などが挙げられた。本単元では、身のまわりのものの言い方を通して、英語と日本語の音の言い方に気付かせ、伝えあうことの楽しさや大切さに気付かせたい。
- ・ これまでの活動で"Ready?" "OK"-"NO"や"Good!" "Excellent"などの表現に十分慣れ親しんできており、活動の準備を確認したり相手をほめたりする英語の表現を自分で選択して使えることができるようにしたい。
- ・ 児童が自分や友達によさに気づき、伸ばせるように、担任は個々の児童の個性や気づきを積極的に賞賛するとともに、ALT は、英語への慣れ親しみやコミュニケーションを図ろうとする意欲的な姿勢に対して多様な賞賛を行う。
- ・ 振り返りの時間に、児童同士で友達の気づきや感想を伝え合うことで多様な見方や考え方に気付くことができるようにする。

3 単元の見目標

- ・ 好きなものについて伝えたり尋ねたりして、進んで友だちとの交流を楽しむ。

4 主な表現や語彙

○場 面 身のまわりの好きなものについて伝えたり尋ねたりする。

○新出表現 I like apples. I don't like bananas. Do you like baseball? Yes,I do. / No,I don't.

○語 彙

- ・ 共通して使うもの：果物（apple, strawberry, cherry, peach, grape, kiwi fruit, lemon, banana, pineapple, orange, melon）、食べ物・飲み物（ice cream, milk, juice）、生き物（bird, rabbit, dog, cat, spider）など
- ・ 選択して使うもの：確認言葉（Ready?, OK? など）  
受け渡し言葉（Here you are. Here you go. など）  
ほめ言葉（good, excellent, good job, nice など）

5 指導と評価の計画（4時間予定）

評 価 規 準	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	好きなものや嫌いなものについて尋ねたり答えたりして、進んで友だちと交流を楽しんでいる。					
	外国語への慣れ親しみ	好きなものや嫌いなものを伝えようとしたり、尋ねようとしたりしている。					
	言語や文化に対する気づき	身のまわりのものの言い方から、日本語と英語の音の違いに気付いている。					
時間	主な内容	主な伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	コ	外	言
		知識・技能・考え方	思考力・表現力等				

第1時	身のまわりのものの言い方を日本語と英語の音の違いに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりのものの言い方の日本語と英語の音の違い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりのものの言い方の日本語と英語の音の違いに気づく力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キーワードゲーム</li> <li>○ ラッキーカードゲーム</li> <li>● アルファベット・ポイント・ポイントゲーム (K～R)</li> </ul>			○
第2時	好きなものや嫌いなものを伝えるに慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語での身のまわりのものの表し方</li> <li>どんなものが好きか、嫌いかなんて伝える英語表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I like～ I don't～ で好きなものや嫌いなものを伝えることができることに気づく力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Let's Chant1 ♪</li> <li>○ 身のまわりのものカルタ</li> <li>○ Yeah! (イエイ) ゲーム</li> <li>● アルファベット・ポイント・ポイントゲーム (K～R)</li> </ul>			○
第3時	好きなものを尋ねるに慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりのもので何が好きか、嫌いかなんて聞く英語表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Do you like～で何が好きか聞くことができることに気づく力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Let's Chant2 ♪</li> <li>○ 予想ゲーム</li> <li>● アルファベット・ポイント・ポイントゲーム (S～Z)</li> </ul>			○
第4時	好きなものや嫌いなものについて尋ねたり答えたり進んで友達と交流を楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手やチャットを工夫して、分りやすい態度で伝える能力</li> <li>何が好きか伝える簡単な表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きなものを工夫し、友だちに分かりやすく伝える力</li> <li>コミュニケーションの中で気付き、友だちに伝える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Let's Listen2 ♪</li> <li>○ なかまさがしゲーム</li> <li>● アルファベット・ポイント・ポイントゲーム (S～Z)</li> </ul>			○

## 6 本時の展開

- ねらい 身のまわりのものの言い方を知り、日本語と英語の音の違いに気付く。
- 準備 CD (「バナナじゃなくて banana ♪」)、身のまわりのものの絵カード(掲示用)、Hi, friends!1 の巻末(p.41,43)の身のまわりのものの絵カード、アルファベットカード
- 使用語彙 果物 (apple, strawberry, cherry, peach, grape, kiwi fruit, lemon, banana, pineapple, orange, melon)、食べ物・飲み物 (ice cream, milk, juice)、生き物 (bird, rabbit, dog, cat, spider) など
- 展開

学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	
		HRT	ALT
<b>[Greeting]</b> ○簡単なあいさつをする。 曜日、日付、天気について答える。 ○チャンツ「バナナじゃなくて banana ♪」に取り組む。	5	○T1は、BGMを流し、学習する雰囲気づくりをする。 ○リズムに合わせて、楽しく取り組めるようにする。	○児童と積極的に会話をする。

<p><b>[Presentation]</b></p> <p>○単元の見通し「好きなものや きらいなものをたずねたり答 えたりして友だちと楽しもう」 と本時のめあてを知る。</p> <p>○身のまわりのものの絵カード を見ながらALTの後について 言う。</p> <p>○キーワードゲームに取り組 む。</p> <p>○ラッキーカードゲームに取り 組む。</p> <p><b>[Practice]</b></p> <p>○フィンガーツイスターに取 り組む。</p>	<p>5</p> <p>8</p> <p>7</p> <p>10</p> <p>5</p>	<p style="text-align: center;"><b>【めあて】日本語と英語の音ののちがいを見つけて、 言ってみよう</b></p> <p>○絵カードについては児童にとってなじみのあるものを選択して扱うようにす る。</p> <p>○外来語と英語の音の違いを比べて聞かせり、アクセントや音声の特徴をジ ェスチャーなどで示し、視覚的にも分かりやすく工夫する。</p> <p>○ALTは、児童の興味を引くような絵カード提示の仕方を工夫する。</p> <p><b>キーワードゲームの進め方</b></p> <p>①HRTが身のまわりのものの絵カードの中からキーワードを1つ選ぶ。 ②ペアになり、2人の間に消しゴム等を置く。 ③ALTが語を言うのを聞き、キーワードだったら消しゴムを取る。 ④キーワードを変えてゲームを繰り返す。</p> <p><b>ラッキーカードゲームの進め方</b></p> <p>①身のまわりのもののカードを1セットを受け取る。 ②ペアになり、自分のカードを伏せた状態でよく混ぜ、6枚選ぶ。 ③6枚のカードを1枚ずつ、書かれている語を英語らしく言いながらカ ードを表にして机の上に置く。 ④同じカードが出た回数、Lucky!と言ってハイタッチをする。</p> <p>○時間があれば、カードやペアを替えたりして繰り返す。</p> <p><b>フィンガーツイスター進め方</b></p> <p>①アルファベットカードを受け取る。 ②ペアになり、アルファベットカードをお互いの真ん中に準備する。 ③ALTが身のまわりのもののアルファベットを発音する。 ④児童は、聞いたアルファベットを指で一つずつ指す。 ⑤指は離さず、テンポよく行う。</p>
<p><b>[Closing]</b></p> <p>○振り返りカードに自己評価と ねらいに沿った感想などを 書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈表れてほしい児童の意識〉</p> <p>日本語と英語のイントネ ーションはこんなに違い があるんだ。</p> </div>	<p>5</p>	<p>○机間指導をしながら、頑張った点を想起させる言葉がけをする。 ○時間があれば、2、3名程度の児童に発表させる。 ○T1とT2は、よかったところを紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【言】身のまわりのものの言い方から、日本語と英語の音の違いに 気付いている。【行動観察、振り返りカード】</b></p> </div>